

2026 年度 くじらと捕鯨の地域活性化受講申込書

記入日(西暦) 年 月 日

▼ 以下、記入し該当する事項に☑してください。

受講申込コース及び期間		全聴講	一部聴講
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化	3 か月	☐	☐

フリガナ 氏 名			写真貼付欄 縦 4cm×横 3cm ・上半身・脱帽 ・モノクロ可 ・自撮り可 ・背景はできるだけ 無地が望ましい ※裏面に氏名を記入
生 年 月 日	(西暦) 年 月 日	満 歳	
現 住 所	〒		
電 話 番 号 どちらか一方でも可	(自 宅)	駐車許可証発行 (受講に際して自家用車を使用される予定がある方) ☐ 要 ・ ☐ 不要 使用する車種・車両ナンバー	
	(携 帯)		
メールアドレス	※選考や講義に関するご連絡をメールで行うことがあり、またファイルを添付することがありますので、できるだけパソコンのアドレスをご記入ください(携帯のアドレスはご遠慮ください)。		受講生証発行 (オンラインの方のみチェックしてください) ※身分証明書として、キャンパス入講時や本学の附属図書館に来館する際に必要です。 ☐ 要 ・ ☐ 不要
現在の職業	☐ 会社員 ☐ 公務員・団体職員 ☐ 自営業 ☐ 学生 ☐ その他()		

職業	
企業名・部署・職種等	業務内容

以下、受講に際して受講者のニーズを把握してより良い講義を準備するためにお伺いします。

○ 受講方法について

- ☐ 対面授業での参加希望
- ☐ オンライン講義での参加希望：Microsoft の Teams を使用。受講生アカウントを付与しますので、カメラ及びマイク機能がある PC もしくはモバイル機器とインターネット環境を準備してください。
- ☐ 両方の可能性あり(講義によって講義方法が異なる方)主に受ける方へもチェックをお願いします。

○ 特別の配慮が必要な事項(身体面、健康面、通学面、IT 環境面、家庭面など)

受講開始後、個別にご相談いただいても構いません。

2026年度 聴講希望講義表

くじらと捕鯨地域活性化 (教室：下関市立大学 本館 2F I-201 (予定)) ※教室は人数などで変更になる場合がございます。

チェック欄	講義コード	講義名	時限	開講日
「くじら」と「捕鯨」概論				
☐	く-1-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	6月6日(土)
☐	く-1-2	くじらの基礎知識(くじらの種類、水産資源等について)	10:40~12:10	
☐	く-1-3	捕鯨の基礎知識Ⅰ(水産と捕鯨の政策)	9:00~10:30	6月27日(土)
☐	く-1-4	捕鯨の基礎知識Ⅱ(IWCと調査捕鯨、商業捕鯨と管理について)	10:40~12:10	
☐	く-1-5	捕鯨の歴史Ⅰ(世界と日本の捕鯨史について)	9:00~10:30	7月11日(土)
☐	く-1-6	捕鯨の歴史Ⅱ(山口・下関の捕鯨史について)	10:40~12:10	
☐	く-1-7	くじらの利用と捕鯨文化(日本・ノルウェー・アイスランド・韓国)	9:00~10:30	7月25日(土)
☐	く-1-8	水産経済から見た捕鯨Ⅰ(水産物と鯨の流通・価格・消費について)	10:40~12:10	
☐	く-1-9	水産経済から見た捕鯨Ⅱ(水産加工品と鯨肉の特性について)	9:00~10:30	8月1日(土)
☐	く-1-10	水産都市・下関の歴史・文化(ふく、大手水産会社と遠洋漁業、下関の現状等について)	10:40~12:10	
☐	く-1-11	鯨食の普及啓発と鯨未利用部位の取り組みについて	9:00~10:30	8月29日(土)
☐	く-1-12	地域振興に「くじら」と「捕鯨」をどう活かすか(新たな捕鯨関連産業と地域振興について)	10:40~12:10	

※1 講義あたり 500 円として受講料を算出の上、振り込みをお願いします。

※この申込書に記載された個人情報は、リカレント教育センターへの当該受講に関する業務のみ利用されます。

(受講料納付について)

受講料を確認し、お近くの金融機関の窓口、ATM、インターネットバンキング等でお支払いください。

手数料はご本人負担となります。

《振込先》西中国信用金庫 山の田支店 (普) 0412010

合計講義数

講義

×500/講義

受講料

円

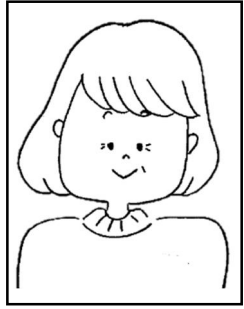
支払日： 月 日

記入例

2026年度 くじらと捕鯨の地域活性化受講申込書

記入日 2026年2月9日

▼ 以下、記入し該当する事項に☑してください。

受講申込コース及び期間		全聴講	一部聴講
「くじら」と「捕鯨」の地域活性化		3 か月	☐
フリガナ 氏 名	ヤマグチ ミツコ 山口 みつこ		
生 年 月 日	(西暦) 1955年 5月 1日 満 70 歳		
現 住 所	〒987-6543 山口県下関市大学町9丁目876番地		
電 話 番 号 どちらか一方でも可	(自 宅) 876-543-210 (携 帯) 012-3456-7890	駐車許可証発行 (受講に際して自家用車を使用される予定がある方) ☒ 要 ・ ☐ 不要 使用する車種・車両ナンバー トヨタカローラ 下関500 あ12-34	
メールアドレス	mitsuko.yamaguchi@~personal computer. Email ※選考や講義に関するご連絡をメールで行うことがあり、またファイルを送付することがありますので、できるだけパソコンのアドレスをご記入ください(携帯のアドレスはご遠慮ください)。		受講生証発行 (オンラインの方のみチェックしてください) ※身分証明書として、キャンパス入講時や大学の附属図書館に来館する際に必要です。 ☐ 要 ・ ☐ 不要
現在の職業	☒ 会社員 ☐ 公務員・団体職員 ☐ 自営業 ☐ 学生 ☐ その他 ()		

職業	
企業名・部署・職種等	業務内容
〇〇〇水産	商品販売

以下、受講に際して受講者のニーズを把握してより良い講義を準備するためにお伺いします。

○ 受講方法について ☒ 対面授業での参加希望 ☐ オンライン講義での参加希望：Microsoft の Teams を使用。受講生アカウントを付与しますので、カメラ及びマイク機能がある PC もしくはモバイル機器とインターネット環境を準備してください。 ☒ 両方の可能性あり(講義によって講義方法が異なる方)主に受ける方へもチェックをお願いします。
○ 特別の配慮が必要な事項(身体面、健康面、通学面、IT 環境面、家庭面など) (※例) 自宅からのオンライン受講を検討しておりますが、自宅のインターネット環境の状況によって受講が難しい場合には対面を希望します。 受講開始後、個別にご相談いただいても構いません。

2026年度 聴講希望講義表

くじらと捕鯨地域活性化(教室:下関市立大学 本館 2F I-201 (予定)) ※教室は人数などで変更になる場合がございます。

チェック欄	講義コード	講義名	時限	開講日
「くじら」と「捕鯨」概論				
☐	く-1-1	全体ガイダンス	9:00~10:30	6月6日(土)
☒	く-1-2	くじらの基礎知識(くじらの種類、水産資源等について)	10:40~12:10	
☒	く-1-3	捕鯨の基礎知識Ⅰ(水産と捕鯨の政策)	9:00~10:30	6月27日(土)
☐	く-1-4	捕鯨の基礎知識Ⅱ(IWCと調査捕鯨、商業捕鯨と管理について)	10:40~12:10	
☐	く-1-5	捕鯨の歴史Ⅰ(世界と日本の捕鯨史について)	9:00~10:30	7月11日(土)
☒	く-1-6	捕鯨の歴史Ⅱ(山口・下関の捕鯨史について)	10:40~12:10	
☐	く-1-7	くじらの利用と捕鯨文化(日本・ノルウェー・アイスランド・韓国)	9:00~10:30	7月25日(土)
☒	く-1-8	水産経済から見た捕鯨Ⅰ(水産物と鯨の流通・価格・消費について)	10:40~12:10	
☒	く-1-9	水産経済から見た捕鯨Ⅱ(水産加工品と鯨肉の特性について)	9:00~10:30	8月1日(土)
☒	く-1-10	水産都市・下関の歴史・文化(ふく、大手水産会社と遠洋漁業、下関の現状等について)	10:40~12:10	
☒	く-1-11	鯨食の普及啓発と鯨末利用部位の取り組みについて	9:00~10:30	8月29日(土)
☒	く-1-12	地域振興に「くじら」と「捕鯨」をどう活かすか(新たな捕鯨関連産業と地域振興について)	10:40~12:10	

※ 1講義あたり500円として受講料を算出の上、振り込みをお願いします。

※ この申込書に記載された個人情報は、リカレント教育センターへの当該受講に関する業務のみに利用されます。

(受講料納付について)

受講料を確認し、お近くの金融機関の窓口、ATM、インターネットバンキング等でお支払いください。

手数料はご本人負担となります。

《振込先》西中国信用金庫 山の田支店 (普) 0412010

合計講義数

8

講義

×500/講義

受講料

4,000

円

支払日 2月9日